

2022年6月7日

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

量子生命・医学部門 放射線医学研究所所長

山下 俊一 殿

NPO 市民科学研究室 低線量被曝研究会

上田 昌文 柿原 泰 瀬川 嘉之 田口 茂

永井 宏幸 林 衛 吉田 由布子

回答送付先 永井 宏幸

nagai.koko@gmail.com

813-0005 福岡市東区御島崎 1-19-401

確認のための質問

4月29日の再質問書にご回答をいただきましたが、<「科学的に確かであると国際的なコンセンサスと認められている事実」についてのみお伝えすることとしています>、<そして国際的コンセンサスとして、「100mSv 以上の放射線被ばくについては、がん死亡のリスクが線量とともに徐々に増えることが明らかになっている」と記載いたしました>とのことでした。

しかし、この<国際的なコンセンサス>が何を意味しているのかわかりかねます。

そこで、<国際的なコンセンサス>について具体的に説明していただくようお願いします（質問 1）。

また<科学的に確か>の判断の基準についても説明をお願いします（質問 2）。